

# 由利

立教186年 令和5年

3 月 号



## おちばの風景

### 1ヶ月間の主な歩み

#### 一月

一五日 伊藤家四十年祭(申三大人)

#### 二月

一七日 お願いづとめ

一九日 北蒲原分教会月次祭

二六日 御本部月次祭、由利婦人会

#### 三月

一日 大教会役員会議

婦人会委員長の集い

一日〜三日 お願いづとめ

三日 支部例会(上之浜分教会)

五日 お願いづとめ

七日 おさづけ取次日

九日 中村洋子宅おつとめ

一日 大毎分へ大教会巡教として

## 今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正 明

教祖伝逸話篇【天に届く理】を拝読  
して思う事

教祖伝逸話篇【天に届く理】

『教祖は、明治十七年三月二十四日(陰暦二月二十七日)から四月五日(陰暦三月十日)まで奈良監獄署へ御苦勞下された。鴻田忠三郎も十日間入牢拘禁された。その間、忠三郎は、獄吏から便所掃除を命ぜられた。忠三郎が掃除を終えて、教祖の御前にもどると、教祖は、

「鴻田はん、こんな所へ連れて来て、便所のようなむさい所の掃除をさされて、あんたは、どう思うたかえ。」と、お尋ね下されたので、「何をさせて頂いても、神様の御用向きを勤めさせて頂くと思えば、実に結構でございます。」と申し上げると、教祖の仰せ下さるには、

「そうそう、どんな辛い事や嫌なことでも、結構と思うてすれば、天に届く理、神様受け取り下さる理は、結構に変えて下さる。なれども、えらい仕事、しんどい仕事を何んぼしても、ああ辛いなあ、ああ嫌やなあ、と、不足々々ではしては、天に届く理は不足になるのやで。」と、お諭し下された。』

教会では教祖逸話篇をその月によつては拝読させて頂く事があるのですが、その中でここで紹介させて頂いた『天に届く理』という逸話篇も特に私が心引かれるお話の一つです。

「どんな辛い事でも結構と思うてすれば、天に届く理、しんどい仕事を何ぼしてもあー嫌やなあと不足々々ではしては、天に届く理は不足になるのやで」という教祖の教えですが、とても素朴で平易な感じのお話ですが、ある意味これ程天理教の「平和的で健康的な雰囲気」を伝えている逸話はないのではとさえ思います。何故私が今回このような逸話を紹

介するかと言えば、特に昨年七月安倍晋三元総理が奈良市で殺害されてから世に言うオカルト的な宗教の実態が頻繁に報道され、それがともすれば他の宗教の見方にも影響しかねないのが昨今の状況とも言えるのではと思うからです。

又、世界宗教と言われる宗教の中にも、女性には教育は許されなかったり、極端な差別強いている所もあります。このような報道に数多く触れたら、社会の中で宗教を敬遠する傾向も出てくるのではと思わざるを得ません。

そういう複雑な状況の中で、上記の逸話を讀ませて頂くと、「人間の喜ぶ心を神様が如何に楽しみにされているか」という親の教えの原点ともいべき事柄が書かれているように思えます。

ともすれば宗教が複雑怪奇なように表現されかねない現代だからこそ、上記のような素朴な逸話の教えの中に逆に神様の教えの真実が込められ

ているように見え、何にも替え難い教の深さがあるように思います。

### 三月一日 婦人会

#### 委員部長の集い開催

コロナ禍により、地域別に開催していた委員部長の集いを三年ぶりに大教会に於いて開催しました。

大教会長様よりおやさまのひながた、存命の理とは、という事についてお話があり、

その後、支部長様より今年度の婦人会の活動方針の説明と共に、おやさまのひながたはどんな時も喜びに変えて治めて通るところを学ぶこと、又育つ努力、育てる丹精につとめさせて頂きましようとお話がありました。午後か



らは班別に分かれ、テーマに添い、ねりあいを行いました。

教祖百四十年祭、三年千日スタートの年、心定めて動きだしましょうと誓い合い終了しました。

#### 教祖百四十祭にむけ、巡教始まる

年祭に向け、北洋部内教会一斉巡教が始まりました。当教会の会長さんも御用として、今月十一日に大毎分教会(新潟県)に行かせて頂きました。

来月は、荘内分教会(山形県)、飯盛山分教会(福島県)に行く予定です。

#### ☆教会よりお知らせ☆

◎三月二十一日(火)朝づとめ終了後より由利分教会春季霊祭をさせて頂きます。ご参拝よろしくお願ひします。

◎四月の月次祭は、四月九日(日)です。でのお間違いのないようにご参拝下さい。

#### ♪婦人会よりお知らせ♪

① 毎年恒例の「感謝の心を日々に」の御供を、来月四月九日の月次祭に集めさせて頂きます。

健康につつがなく一年を過ごさせて頂いた御礼の御供を教祖御誕生祭に御供させて頂きたいと思います。何卒宜しくお願い致します。

② 四月は婦人会費納入月となります。年間一、〇〇〇円です。

十六才以上は婦人会員となりますので、新加入の方、大歓迎です。こちらも宜しくお願ひ致します。

#### ◇大教会少年会おつとめ総会◇

日時 三月三十日(木)

午前五時半 由利分教会出発

参加御供 千円(昼食代、車代含む)  
持ち物 ハッピー、白靴下

(無ければ貸し出します)

楽しいアトラクションもあります♪

4 月 祭 典 役 割 表

神殿講話 中村喜正 理事

開扉・献饌の男子の方は**10時**まで、女子の方は**10時20分**までおとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

ておどり												会 長		祭主
地方(主)	地方(副)	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	属者	賛者	指図方	
雄物川	利翔布	佐々木由正	仁賀保	由利道	由利東布	東滝沢(前)	小林大晃	小松敬子	木内教子	小川道子	雄物川	利翔布	東滝沢	
利翔布	佐々木由正	小林大晃	齋藤賢爾	佐々木由明	豊島栄二	伊藤一男	斎藤清一	中村柳子	佐々木朱美	豊島末子	桑原廣	前 半	後 半	
佐々木良美	佐々木由正	東滝沢	小林理英子	伊藤奈津子	松田理奈	坐りづとめ	上之浜	雄物川	利翔布	東滝沢	利翔布	前 半	後 半	
佐々木由正	利翔布	豊島優	由利東布	佐々木義實	佐々木由明	豊島栄二	中村喜正	斎藤清一	小川昭子	小川貴美子	東滝沢	利翔布	後 半	

部内だより

矢島町分教会

今月、三月十日大教会より、岩倉先生の諭達の巡教がありました。  
今年は、雪が少なく、大変助かりました、来年宜しくお願い致します。

仁賀保分教会

昭和六十一年教祖百年祭の年、当教会移転奉告祭に御祝として頂いた大型冷蔵庫は三十七年間、教会台所を守ってくれてましたが、とうとう処分することとなり、今月教会を後にしました。長い間使わせて頂いて、ありがとうございました。

亀田町分教会

現在小川建具屋さんのご指導のもと教会客間の襖張りに挑戦しているところです。完成後が楽しみです。

由利道分教会

吉村正治が、実兄の会長就任奉告祭参列のため家族で地球の真裏、サンパウロに一時帰国します。教会の人口の6割が減少します。